

クロスロード 編集後記

アメリカ片田舎の老母と息子の話。
彼は親孝行で給料の中からいくらか必ず母親に渡していた。
息子が兵隊に行ってから、手紙は度々来るがお金は送ってこなくなった。
軍隊にはいって息子は悪い人間になったのかと、母親は寂しく悲しい思いをしていたが、ある時、そのことを親しい人に相談した。
そしてその人に手紙を見せたところ、中から小切手が出てきた。
母親は小切手を知らなかったので、単なる紙切れと思い、喜ぶ事が出来なかったのです。
私たちが、日々の生活を通して恵みが添えられていますが、この母親と同じ思いをしているのではないのでしょうか。

天野 一

聖書を典拠としたことわざ、慣用語を調べてみますと、よく知られているものが多く、それぞれ良いアドバイスとなったり、人の知恵となったりして、生きた言葉となってきたことが分かります。また、次号で別の言葉をご紹介します。

(T.A)

教会のクリスマスコンサートにむけてたくさんの小さなリースを作っていました。けれど今年はコロナ…。コンサートは中止となり200ヶのリース作りはなくなりました。小さな愛が届きますように…の願いは叶わずですがここから皆様にささやかなプレゼント♡

天野恵子



このクロスロードが1人でも多くの方の癒し、喜び、導きになれば幸いです。

西原 玲子

今年はwithコロナ時代に入し、生活が一変する年でしたね。
オンライン〇〇が広がる中、赤坂クロスロード編集委員会もlineグループを作成しました。
オンラインでのコミュニケーションは、実際に会って話す喜びとはまた違ったつながりを感じますね。当たり前だと思っていたことが当たり前ではなく『幸せなこと』だったと気づく1年だった気がします。
さて、私は現在、第一次反抗期を迎えた3歳児の母でもあります。
そんな私がぜひ、子育て中のパパママに読んでいただきたい一冊をご紹介します。
『クラウド&タウンゼント博士の聖書に学ぶ子育てコーチング』
子育てや子供の将来に不安をお持ちの方にお勧めです。
その不安は、こどもではなく実は親の自分自身からきていることに気づくかも？
自分自身を見つめなおす機会にもなりますので、ぜひお手にとってください。

岩崎有里

教会スケジュール等はホームページをご覧ください

